

設問番号	Question 1
解答又は 解答例	著作権の関係上、掲載していません。 ご了承ください。
出題の意図	ポジティブ心理学の基礎理論である Fredrickson の「拡張—形成理論（Broaden-and-Build Theory）」について、その中核的メカニズム（思考・行動レパトリリーを広げる「拡張」機能と、持続的な個人資源を蓄積する「形成」機能）を正確に理解し、英語で説明する能力を問うている。あわせて、従来の SLA 研究が不安等のネガティブな情意要因を中心に扱ってきたことを踏まえ、同理論が SLA における情意研究の視座をどのように転換させ得るかを、理論的知見に基づいて論じる力を評価する。日本語教育学領域における情意・心理学的知見への理解の深さと、それを大学院における研究に応用していく素地があるかを確認することを意図している。

設問番号	Question 2
解答又は 解答例	著作権の関係上、掲載していません。 ご了承ください。
出題の意図	現行の SLA 感情研究における「ネガティビティ・バイアス（negativity bias）」がもたらす理論的・方法論的な限界について、批判的に分析し論じる能力を問うている。具体的には、①ネガティブ特性の低減を情意面の発達と同一視することによって生じる「歪んだ情動エコシステム」概念の問題点を理解しているか、②横断的・特性論的な質問紙調査といった従来型の研究手法が、学習者の情動が持つ「高い動態性」を捉える上でなぜ不十分であるのかを説明できるかを評価する。複雑力動システム理論（CDST）等の近年の理論的枠組みへの理解を含め、研究方法論を批判的に検討する高度な学術的思考力を有しているかどうかを確認することを意図している。